

## 平成 16 年第 1 回内分泌攪乱化学物質問題検討会議事要旨

日時：平成 16 年 7 月 27 日（火） 14:00～16:00

場所：中央合同庁舎 5 号館 22 階 環境省第 1 会議室

出席委員：有菌幸司、井口泰泉、井上達、岩本晃明、大島康行、奥野泰由、  
角田禮子、柏木昭彦、香山不二雄、住吉好雄、鈴木継美（座長）、  
高杉 暹、高橋道人、武繁春、田辺信介、坪田敏男、遠山千春、  
花岡知之、村田幸雄、森田昌敏、安野正之、和田勝

オブザーバー：青山博昭

（敬称略）

事務局：滝澤環境保健部長、柴垣企画課長、上家環境安全課長、  
三宅環境リスク評価室長 他

議題：

- （1）平成 14 年度等優先検討物質の試験結果について
- （2）平成 15 年度優先検討物質の文献調査・信頼性評価結果について
- （3）内分泌攪乱化学物質に係る環境実態調査等について
- （4）「環境ホルモン戦略計画 SPEED'98」の見直し状況について
- （5）その他

議事要旨

- （1）平成 13 年度に選定および平成 14 年度に選定した 3 物質について、哺乳類を用いた人健康への内分泌攪乱作用に関する試験結果と今後の方針を、5 物質について魚類を用いた生態系への内分泌攪乱作用に関する試験結果について事務局から報告し検討が行われた。
- （2）新たにリスク評価に取り組む物質である 3 物質について文献調査の実施状況を事務局から報告し検討が行われた。
- （3）これまでの環境実態調査及び曝露経路調査等について、これまでの実施状況及び平成 16 年度の調査方針について事務局から報告し検討が行われた。平成 16 年度内分泌攪乱化学物質における環境実態調査、平成 15 年度内分泌攪乱化学物質に関する野生生物蓄積状況調査結果、平成 15 年度内分泌攪乱化学物質に関する室内空気調査結果、平成 15 年度内分泌攪乱化学物質に関する食事調査結果について事務局から報告し検討が行われた。ヒト臍帯等における化学物質の蓄積・暴露状況の調査・研究結果等について事務局から報告し検討が行われた。
- （4）環境ホルモン戦略計画 SPEED'98 の見直しの状況について事務局から報告した。
- （5）その他として、第 7 回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウムの開催について事務局から報告した。

以上